

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

広島県 北広島町

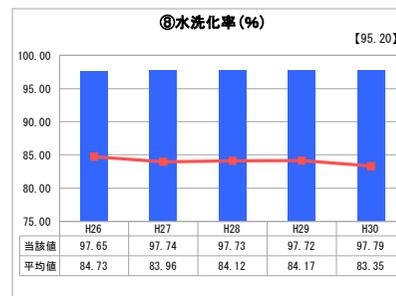
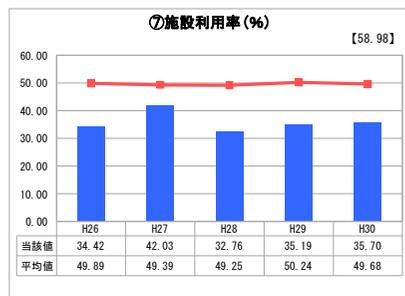
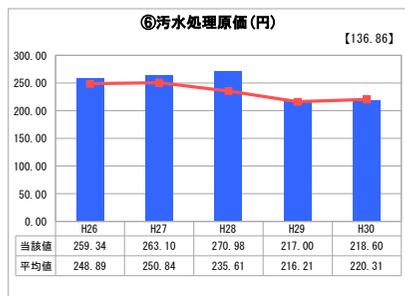
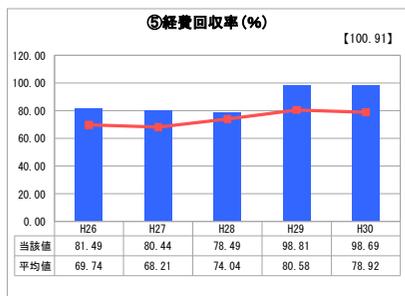
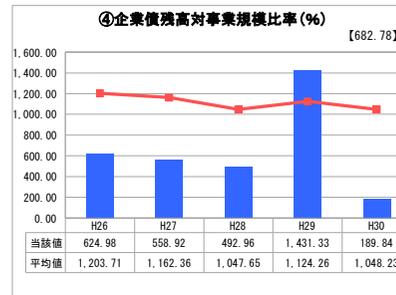
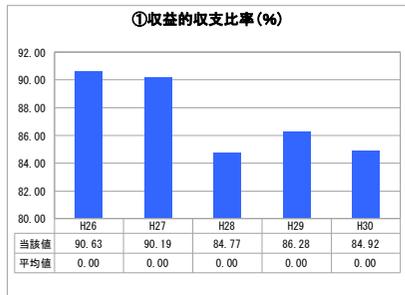
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Cd2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	18.91	71.54	3,623

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
18,780	646.20	29.06
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,530	3.55	994.37

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率は100%を下回っており、単年度収支は赤字である。昨年度に比べ総収益は微減、総費用が増加したことから比率は悪化している。今後は単年度収支赤字縮減に向けて経営改善に取り組んでいく必要がある。

②企業債残高対事業規模比率のH29当該値は1,431.33%となっているが、正しくは226.57%である。企業債残高対事業規模比率は企業債現在高とともに順調に減少している。類似団体平均を大きく下回る比率となっているが、これは一般会計の負担による影響もあることから一概に良いとは言えない状況である。

③経費回収率は前年度と同程度であり、100%に近い。しかし他会計繰入金割合が高いため、使用料収入の見直しや汚水処理に係る費用の削減など、安定した経営が継続できるよう取組を進めていく必要がある。

④汚水処理原価は前年度同様の数値となっている。類似団体平均と比較してもほぼ同程度の数値となっているが、有収率については人口減少が起因の一つとなっているため、更に効率的な汚水処理を実施していくための対策を検討していく必要がある。

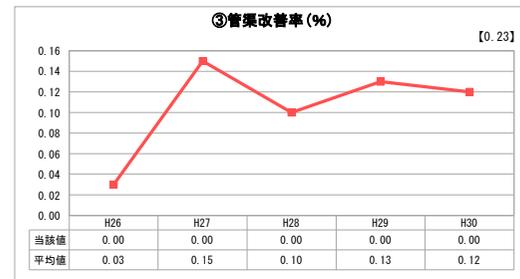
⑤施設利用率は、類似団体平均を下回っており、施設の効率性の面では、適正な施設規模とは言えない数値で推移しており、施設の効率化等検討していく必要がある。

⑥水洗化率は100%に近い数値で推移している。引き続き水洗化率100%に向け取り組んでいく。

### 2. 老朽化の状況について

③現況では、法定耐用年数を超える管路は出ていないが、施設の老朽化が進むにつれて更新に向けた対策も必要となることから、適正な時期に適正な管路更新ができるよう計画的な資産管理を行う。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

本町の公共下水道事業は、前年度と比較すると改善がみられるが、総収益における繰入金割合が高いことなどの問題点がある。また、単年度赤字収支や経費回収率100%未満などの課題もことから、平成28年度策定の経営戦略に基づき今後も経営改善に向けてより計画的に運営を行っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。